

大きなわれないしゃぼん玉の作り方

東広島市立高美が丘小学校
第2学年 花岡 和香奈

大きなおれな、しゃぼん玉の作り方

二年 花おか わかな

わたしは、しゃぼん玉であそんでいたら、

弟が、

「ぼくも、大きいしゃぼん玉したい。」

と言いました。買ってみたけど、なかなか

しゃぼん玉ができません。弟はニヤニヤです。

わたしとおなじようにあそぶのは、むずかし
そうでした。

そこで、弟をおなじように大きなおれな、

しゃぼん玉を作れないか、けんきゅうしてみ
ることにしました。

大きなおれな、しゃぼん玉を作るために
とんかくふうがでるが、かんがえてみまし
た。しゃぼん玉のえきをくふうするのと、
しゃぼん玉のふき方をくふうしたらいいかな
と思いました。

一つ目のしゃぼん玉のくふうからはじ
めました。えきのペトリヤウは、どんなもの
があるか、家の中をさがしてみました。あち

けっか①

	水1dL	水2dL
石けん水 20mL	X しゃぼん玉がどきない	△ しゃぼん水はできたけどすぐあれた
しゃんきあらいせんざい 20mL	○ しゃぼん玉ができた	◎ しゃぼん水がたたくとできた
せんたくせんざい 20mL	△ ちいさいしゃぼん水はあんなに	○ ちいさいしゃぼん水はあんなに

になりました。

けっか①のは、石けん水、しゃんきあらいせんざい、せんたくせんざいです。「これをうかうとしました。」
まず、石けんをけずって、二十ミリリットルのおゆでとかします。ほかの二つのせんざいも二十ミリリットルずつあうくしました。それを、一デシリットルと二デシリットルの水で、それをあうくすすめます。
つぎに、しゃぼん水をあらし形のストローにつけて、あうくすすめます。けっか①のは




しまっ、ちあらいせんが、いをつかったえきが
 ーばんし⁺ぼん玉がたくさんできました。そ
 ううとぶくと、大きをものもできました。で
 も、とれも、すぐにわれてしまいました。
 ーそーで、もつとわれたくくするほつほつは
 ないがしらべとみると、せんたんのりをまぜ
 るとき、なるんじがわかりました。しまっ
 ちあらいせんたいのえきにまぜてみると、大き
 ないし、ぼん玉ができて、わらずにしばらくも
 ちました。

えきのくみフができたので、「んんはんえ
 方のくみフです。

ーふき方は、ストローをつか、うほう、ゆび
 で三角形を作って、そこにまくを作るほう、
 あなが空けてあるあつかにまくを作るほう、
 ダンボールをきって、はしにえきを付けてはん
 たいがあのはしからぶくちほうを、がって、
 るーとにしました。これなら、弟もできそ、うた
 からです。

けっかは、②のふたに貼り付けた。

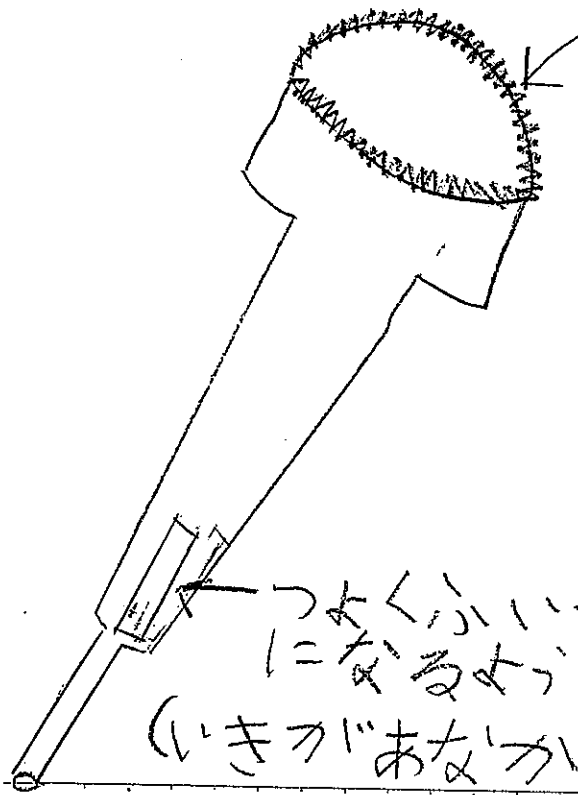
けっか②

ふき方	わたし	弟
①ストロー	大きいのが できた	つよくか ふけない のででき ない
②三かく <small>わ</small> 	中くらいの ができた	三かくゆ びがで きない
③わっか 	できなかった かった	できな かった
④ダンボ ール 	小さいのが たくさんで きた	小さいの がたくさ んできた

たぐさんのしゃぼん玉ができたのは、弟も
わたしもダンボールをつかった方ほうでした。
弟はつよくふくくとしてしかできないので、スト
ローなどの方ほうでは、すぐにおれてしまい
ました。どうしてダンボールはできたのか、
かんがえてみる。ダンボールには、たぐ
さんのお友がトナリにならなくていい。たぐ
ら、つよくふくくして、分かれるので、つのお友
からおれぬ、おれぬ、おれぬ、おれぬ、おれぬ、
だから弟でも、しゃぼん玉ができました。

だけれど、大さくしかほん玉はくまません
 した。そので、おみせにうってしるし、ほん
 玉ゼットのストローをかんとつしてみました。
 すると、ふくとくらはせまく、すしのいき
 しか入らないやうになつていて、中にも、
 いきが出るやうにあながありました。つと
 いきでついても、よあいきになるやうに、
 くふうしてありました。これが、しゃほん玉
 がくまなくみえたと感じました。

かんさつ



ひろいほうが
 しゃほん玉のま
 くができかす。
 (きさきさごと
 られるから)

つよくくわいてもよあいき
 になるやうにあながある。
 (いきがあなからにげる)

じっけんのけっかから、大きなおれなし
 しばん玉を作るために、

• しゃっ きあらいせんがいと、せんたくのり
 をませて、水でうすめたえんを造る。

• ダンボールをつかっでぶく。

• よあ、いきでぶく。

といふことが、わかりました。

ふりがえりとしては、弟と一しやい
 ん玉がふけるようになった。弟もよひん
 いたのでよかつたと思ひました。

弟にふいてもらつてじっけんして、たゞ
 えきをのまないやうに気をつけないとけな
 かつたので、口に入つてもあんせんしやほ
 ん玉えきは作れないか、けんぎのうしてみた
 いと思ひました。

〈指導者の言葉〉

この作品は、大きな割れないシャボン玉の作り方について研究したことをまとめた記録文です。

児童は弟とシャボン玉を作って遊ぶ中で、自分は大きな割れないシャボン玉が作れるのに弟がなかなか作れない状況から、どうしたら弟も大きな割れないシャボン玉を作ることができるだろうという疑問を持ち、実験しながら調べています。

研究の流れに沿って、研究の動機、研究の柱の設定、研究の方法と結果、考察・感想と順序立てて書くことができています。

また、研究の動機の記述にもありますように、弟にも自分と同じような大きな割れないシャボン玉が作れるようにしてあげたいなど、お姉さんとしての優しさが感じられる表現に、児童の人柄が感じられます。

本校では、日常の事象に目を向け、「なぜだろう？」と疑問を抱いたことを追究するのぞみ学習を行っています。低学年ではありますが、その学習で培っている課題発見力、思考力、表現力をしっかりと発揮した作品になっています。